

## 山梨がんチャリティ・イベントコンサート&パフォーマンス 小児がん「しゃべり場」

in 2017年12月10日(日) 13:30~15:30 山梨県立図書館イベントスペースの一角を囲んで  
ファシリテーター:

福井里美 (首都大学東京/がんフォーラム山梨)

若尾直子 (がんフォーラム山梨/山梨まんまくらぶ)

参加者: 19名 (小児医療経験者2名、小児がん治療を受ける子どものきょうだい2名、母親・遺族6名、院内学級教諭、障害児教育、小児病棟ボランティア、ソーシャルワーカー、看護学生、看護師、骨髄移植コーディネーター、ソシエティシャン (アピアランス) 外観のケア等) 記録: 福井



(グループの様子)

当事者の思い、願い、きょうだいの立場での思い、母親の迷いや思いと葛藤、院内学級教諭の立場、小児がんの子どもと親を支援する立場、これから小児がんでがんばる子どもと家族の力になりたいという思い、研究動向や全国の支援団体の動向の情報共有、子どもに難治性がんの病状説明・告知がされていない現状への憤り、主治医が厳しい現実 (Bad News) を伝える

つらさと主治医とともに心理的にサポートするチームの欠如など、さまざまな立場で語り合った。

今まで、山梨ではこのような様々な立場の者が会して、小児がん治療の向上を目指した様々な思いを語り合う場がなかった。情報や前例が少ない、手探りな医療現場医で、情報が無い、病名告知されないつらさ現状で、今までのそれぞれのがんばりを認めつつ、

情報交換をし、これからの連携に向けた大きな一歩を踏み出した。感想を貼って共有し、温かく充実した場となった。

